

平成26年3月18日

(あて先) 熊本市長

住所 熊本市東区
団体名 はーとりんく 熊本
代表者 職名 代表 氏名 岩永 留美 (印)

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成25年4月1日付け指令(市協)第3-3号により、平成25年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

命と心をつなぐ「手当て」で地域救護力アップを
～応急救護手当て講習会～

2 助成事業の実施期間

平成25年4月21日～平成26年3月18日

3 助成事業の内容

命に及ぶ事態、急病、ケガ、事故、災害などの際の応急救護講習会開催
講習内容(119通報、心肺蘇生法、AEDの操作法、出血、やけど、のどつぼり、熱中症
の手当て)

4 事業の成果

熊本市地域コミュニティセンターを中心に、地域の各施設において講習会を全28開催
一般市民で命を救い、寄り添う手助けができる人材が419名誕生した。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式第16号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

事業報告書

平成 25 年度																													
事業名	命と心をつなぐ『手当て』で地域救護カアプを ～応急救護当て講習会～																												
目的	熊本市は 2012 グランドデザインと称して、安心を支え未来を拓く「医療拠点都市」として10年後も安心して医療が受けられるまちを目指しています。住みなれた地域で安心していきいきと暮らせるよう、アレルギー等の部分で、私達一般市民にもできることがあると考えます。そこで命に万が一の事態、又事故や火災、災害などのいざという時、救急隊が到着するまでの間、医療を受けるまでの間に命と心をつなぐ『手当て』を習得する機会を地域に提供し、この事業を行うことで各地域での地域救護カアプに貢献していきます。																												
事業期間	H25 年 4 月 ～ H26 年 3 月																												
具体的な事業内容	<table border="1"> <tr> <td>① H25.4.21 託麻北マセン 12名</td><td>⑮ H25.9.27 バビーマッサージセラピー 16名</td></tr> <tr> <td>② 5.16 水の科学館 8名</td><td>⑯ 9.28 カ合心庵 11 15名</td></tr> <tr> <td>③ 5.18 神水幼稚園 16名</td><td>⑰ 10.24 東部交流センター 19名</td></tr> <tr> <td>④ 6.30 託麻北マセン 12名</td><td>⑱ 10.24 長嶺マセン 18名</td></tr> <tr> <td>⑤ 6.30 託麻北マセン 10名</td><td>⑲ 11.4 大津公民館分館 12名</td></tr> <tr> <td>⑥ 7.8 託麻東校区(三草) 30名</td><td>⑳ 11.7 託麻東マセン 14名</td></tr> <tr> <td>⑦ 7.11 有機生活 6名</td><td>㉑ 11.8 託麻東マセン 18名</td></tr> <tr> <td>⑧ 7.20 長嶺校区内子母会 13名</td><td>㉒ 11.9 託麻北マセン 13名</td></tr> <tr> <td>⑨ 8.2 田辺マセン 8名</td><td>㉓ 11.28 長嶺マセン 15名</td></tr> <tr> <td>⑩ 8.23 田辺マセン 16名</td><td>㉔ 12.20 山内小学校 23名</td></tr> <tr> <td>⑪ 8.24 託麻北マセン 14名</td><td>㉕ 12.22 大津公民館分館 12名</td></tr> <tr> <td>⑫ 8.27 とうがらし 6名</td><td>㉖ 12.24 更紗空木(比治保園) 11名</td></tr> <tr> <td>⑬ 8.28 松崎ウヰク 20名</td><td>㉗ H26.1.26 あおぞら子ども園 35名</td></tr> <tr> <td>⑭ 9.13 田辺マセン 17名</td><td>㉘ H26.3.5 長嶺保園 10名</td></tr> </table> 一般市民を対象にした応急救護手当て講習会、講師：国際救急法(IA)インストラクター・看護師 熊本市東区まちづくり推進課・まちづくり交流室の協賛により、地域の会合に参加させて頂き働きかけを行った。また、市民のボランティアにより全28回開催、計419人が受講し、命を救う手助けができる人材が誕生した。 講習内容は、119通報・心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸) AED操作法、出血やけがの処置、熱中症の処置。	① H25.4.21 託麻北マセン 12名	⑮ H25.9.27 バビーマッサージセラピー 16名	② 5.16 水の科学館 8名	⑯ 9.28 カ合心庵 11 15名	③ 5.18 神水幼稚園 16名	⑰ 10.24 東部交流センター 19名	④ 6.30 託麻北マセン 12名	⑱ 10.24 長嶺マセン 18名	⑤ 6.30 託麻北マセン 10名	⑲ 11.4 大津公民館分館 12名	⑥ 7.8 託麻東校区(三草) 30名	⑳ 11.7 託麻東マセン 14名	⑦ 7.11 有機生活 6名	㉑ 11.8 託麻東マセン 18名	⑧ 7.20 長嶺校区内子母会 13名	㉒ 11.9 託麻北マセン 13名	⑨ 8.2 田辺マセン 8名	㉓ 11.28 長嶺マセン 15名	⑩ 8.23 田辺マセン 16名	㉔ 12.20 山内小学校 23名	⑪ 8.24 託麻北マセン 14名	㉕ 12.22 大津公民館分館 12名	⑫ 8.27 とうがらし 6名	㉖ 12.24 更紗空木(比治保園) 11名	⑬ 8.28 松崎ウヰク 20名	㉗ H26.1.26 あおぞら子ども園 35名	⑭ 9.13 田辺マセン 17名	㉘ H26.3.5 長嶺保園 10名
① H25.4.21 託麻北マセン 12名	⑮ H25.9.27 バビーマッサージセラピー 16名																												
② 5.16 水の科学館 8名	⑯ 9.28 カ合心庵 11 15名																												
③ 5.18 神水幼稚園 16名	⑰ 10.24 東部交流センター 19名																												
④ 6.30 託麻北マセン 12名	⑱ 10.24 長嶺マセン 18名																												
⑤ 6.30 託麻北マセン 10名	⑲ 11.4 大津公民館分館 12名																												
⑥ 7.8 託麻東校区(三草) 30名	⑳ 11.7 託麻東マセン 14名																												
⑦ 7.11 有機生活 6名	㉑ 11.8 託麻東マセン 18名																												
⑧ 7.20 長嶺校区内子母会 13名	㉒ 11.9 託麻北マセン 13名																												
⑨ 8.2 田辺マセン 8名	㉓ 11.28 長嶺マセン 15名																												
⑩ 8.23 田辺マセン 16名	㉔ 12.20 山内小学校 23名																												
⑪ 8.24 託麻北マセン 14名	㉕ 12.22 大津公民館分館 12名																												
⑫ 8.27 とうがらし 6名	㉖ 12.24 更紗空木(比治保園) 11名																												
⑬ 8.28 松崎ウヰク 20名	㉗ H26.1.26 あおぞら子ども園 35名																												
⑭ 9.13 田辺マセン 17名	㉘ H26.3.5 長嶺保園 10名																												
活動場所	各地域の機関、地域コミュニティセンター																												
期待される効果	この事業により、市民団体・行政・地域が協力し、命と心をつなぐ『手当て』を習得する機会を市民に提供することにより、命を救う手助けができる人材が419人誕生しました。各地域や団体をつなぐ中で、地域救護カアプの必要性を、この講習を通して身近に感じる事で、今後自主事業や自主行事として継続的に取り組むきっかけになったようです。(受講者の声より継続的に開催したいとの声が多く聞かれました) 今後、今現在、東区に医療環境を活かしながら、命と心をつなぐ街「熊本市」へ、一般市民が協力していく姿が期待されます。																												

事業収支決算書

項	目	金	額 (円)	内	訳
収 入	自己資金			会費	
				事業収益	
				その他	
	熊本市市民公益活動支援助成金	372,970		当該事業助成金交付決定額	
	その他の補助金・助成金				
	寄附金・協賛金	187,680		個人・団体からの寄付金	
	その他				
	計	560,650			
支 出	助成対象経費	報償費	140,000	講師等 @ 5,000 × 28 開催 = 140,000	
			84,000	スタッフ交通費 @ 1,000 × 3 × 28 開催 = 84,000	
		役務費	21,000	ミニコミ読・ワイヤ・マ材費・広告料	
		使用料・賃借料	70,190	会場費・ 冷暖房費	詳細は別紙集計表参照
		備品費・消耗品費	30,000	資料(講習会テキスト)コピー 450 部	
			47,460	定期的に交換が必要な消耗品 (紙・記号筆・用紙)	
		旅費 賃借料	56,000	半材料搬入のための車両賃借料 (28 開催分) @ 2,000 × 28 開催分	
		その他 賃借料	112,000	講習会使用の練習用マシナ・AED・レナ器のレンタル一式 @ 4,000 × 28 開催分	
		小計	560,650		
	助成対象外経費				
		小計			
	計	560,650			

※定期的な交換が必要な消耗品

ベビー用 ￥2,730 (24 枚入り)

小児用 ￥13,020 (25 枚入り)

成人用 ￥15,750 (24 枚入り)

AED 交換用パッド ￥79,80 × 2 枚 = ￥15,960

計 ￥47,460